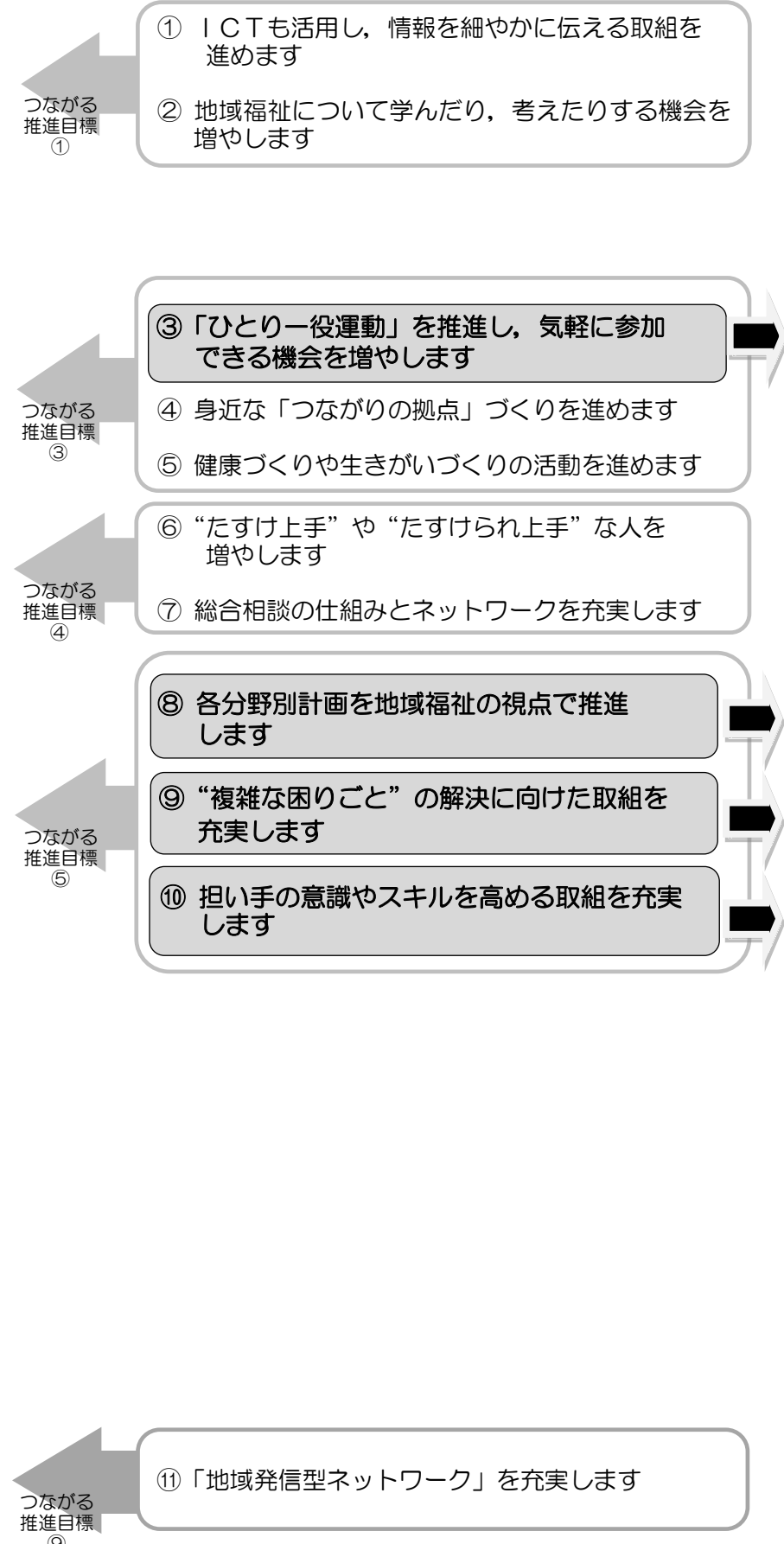


平成30年度 第3次芦屋市地域福祉計画評価対象について

推進目標を効果的に進めるため、市が呼びかけ役、中心となって行う

推進目標	取組の柱	取組・評価の視点
1 “みんなが思いやり・支えあう福祉”への理解を広げる	(1) 地域福祉の情報を発信する	○ 多様な情報を、わかりやすく発信する ○ 必要とする人に的確に伝える ○ 情報への関心を高める
	(2) 地域福祉の学習を進める	○ 誰にでも関わることとして地域福祉を理解する ○ 学校、地域、家庭、職場など、身近なところで学ぶ ○ 多様な学習の機会やプログラムをつくる
2 つながりのあるコミュニティをつくる	(1) 地域福祉を支えるコミュニティをつくる	○ 身近な居場所や参加しやすい活動をつくる ○ 地域の福祉をみんなで考える機会をつくる ○ つながりにくい人にも呼びかける
	(2) 活動への支援を充実する	○ 多様な人が参加できる地域福祉活動を進める ○ 健康づくり・介護予防や生きがいづくりの活動を進める ○ 社会参加や就労を支援する ○ 参加を積極的に呼びかける
3 “できること・したいこと”での参加を進める <small>団体からの報告</small>	(1) 多様な参加の場やきっかけをつくる	○ 活動をサポートする体制を充実する ○ 活動場所や財源の確保、情報発信などの支援を充実する
	(2) 活動への支援を充実する	○ “困りごと”を早めに発見する ○ 適切な相談窓口や支援につなぐ
4 ニーズに気づき、支援につなぐ	(1) ニーズに気づき、つなぐ	○ 気軽に相談できる多様な相談先をつくる ○ 相談を適切な支援につなぐ ○ 相談を解決につなぐ仕組みを強化する
	(2) 相談しやすい体制をつくる	○ 「公」のサービスの内容や提供体制を充実する ○ 地域の多様な力を活かした活動を推進する ○ 新たなニーズや狭間のニーズなどに対応する ○ 担い手を増やす・支援する
5 多様な“困りごと”を包括的に支えるサービスや活動を充実する <small>団体からの報告</small>	(1) サービスや活動の体制を充実する	○ 多様な主体や分野を超えた協働を進める ○ 複雑な課題を解決する取組を進める ○ 効果的で適正な情報共有を進める
	(2) 協働して包括的に支援する	○ 自立を支援するサービスや活動を進める ○ 担い手の意識やスキルを高める ○ 利用者や第三者の意見を活かす
	(3) 支援の質を高める	○ 自分やまわりの人の権利を理解する ○ 権利侵害や虐待を防ぐ・解消する ○ 思いやり支えあう心（心のバリアフリー）を広げる
6 尊厳ある生活を支える	(1) 権利侵害や虐待を防ぐ	○ 権利擁護支援を学ぶ ○ 判断に不安がある人などへの支援を充実する
	(2) 権利擁護支援を進める	○ 道路や建築物、住宅などのバリアを改善し、ユニバーサルデザインを目指す ○ 移動を支援するサービスを充実する ○ 買い物などの日常生活の利便性を高める
7 誰もが暮らしやすいまちづくりを進める	(1) バリアのない暮らしやすいまちをつくる	○ 防災・災害時の支えあいの意識を高める ○ 多様な状況に対応する訓練や対策を進める
8 誰もが安心・安全に暮らせるように支える	(1) 災害に備える	○ 防犯や交通安全に心がける ○ さりげなく見守る取組を進める ○ 安全を高める施設や設備を整備する
	(2) 弱い立場になりがちな人の安全を支える	○ 地域包括ケア・地域共生のまちづくり（我が事・丸ごと）を推進する ○ 多様なネットワークをつくり、つなぐ ○ 「地域福祉のプラットフォーム」を充実する
9 地域福祉をみんなで進める仕組みをつくる	(1) 地域福祉のネットワークを広げ、強化する	

重点的に進める取組



平成30年度 地域福祉計画 評価対象重点取組（行政内・社協）